



2015年10月15日 第2209回例会
10月第3例会

RIテーマ Be a gift to the world

「世界へのプレゼントになろう」

本年度会長テーマ

「ロータリーを通して、互いに親しみ触れ合おう」

「経済と地域社会の発展月間」「米山月間」

◆ 会長時間 ◆

金本会長



先週の職場訪問例会でも報告いたしましたが、去る10月7日(水)、広島市西部こども療育センター「なぎさ園」にて電動車いすの贈呈式を行ってきました。これに対して同

日付で、松井一實広島市長からお礼状を頂いておりますのでご披露させていただきます。

さて、先日の10月1日(木)に、ロータリー文庫運営委員会事務局より次の2点について会員の皆様に周知して欲しい旨のメールが届きました。

一つ目は「クラブのホームページ上でロータリー文庫へリンクできるよう設定して欲しい」という内容であり、紙の劣化が進む中、ロータリー文庫では順次文献のデジタル化を進めているので、是非クラブのホームページ上からロータリー文庫のホームページにアクセスできるよう設定して、今以上にロータリー文庫を活用して欲しいとのことです。

二つ目は「資料寄贈のお願いと公開について」という内容であり、ロータリー文庫では、個人、地区、クラブ発行のロータリー関係の文献・資料等を収集しているため、会員の手元に文献・資料があればぜひ寄贈して欲しい。そして保存・公開のためデジタルデータも併せて贈って欲しいとのことです。

皆様のご協力をよろしくお願いたします。

因みに「ロータリー文庫」は、日本のロータリー一創立50周年の記念事業の一つとして1970年(昭和45年)に設立されたロータリアンのための資料室です。ロータリー関係の文献や資料など約2万4千点が収集整備され、ロータリアンの利用に備えています。なお、ロータリー文庫の運営は、年間会員一人当たり300円のロータリー文庫運営協力金と、コピー代金などのその他の収入で賄われています。

● 会務報告

梶本幹事

※福屋の香川さんより広島いけばな代表作家展の招待券をいただいております。興味のある方はお持ち帰りください。

● 第4回理事会報告

承認事項

- ①次年度理事役員選挙要領に基づく指名委員の承認について
- ②職業分類新設及び変更活動計画(案)について
- ③新会員2名入会手続き開始承認について
- ④会員組織部門強調プログラム活動報告書(案)について
- ⑤新会員勧誘のための冊子の作成活動報告書(案)について
- ⑥創立45周年記念誤記訂正用シール作成活動計画(案)について
- ⑦プログラム出席委員会活動計画11月スケジュール(案)について
- ⑧会報雑誌・広報委員会強調プログラム活動報告書(案)について

- ⑨親睦活動委員会11月夜間例会活動計画(案)について
- ⑩花と緑の街づくりのための緑化支援事業「佐伯区スポーツセンター敷地内への樽鉢寄贈」活動計画(案)について
- ⑪2014-2015年度青少年交換留学生2名による留学体験報告活動計画(案)について
- ⑫「財団部門強調プログラム」ロータリー財団への寄付のお願い活動計画(案)について
- ⑬第3回理事会議事録の承認

報告事項

- ①9月度収支計算書報告
- ②梶君、新本君、堀江君インターアクトメンバー依頼
- ③2016-17年度国際ロータリー2710地区ガバナー補佐の任命報告
(グループ7 広島西南ロータリークラブ 曾里 裕さん)

協議事項

終身功労会友提言(案)再協議の結果結論でず、次回未定

●委員会報告

✳️ プログラム・出席委員会

出席報告 中岡委員

本日(10月15日・木曜日)
 会員数 82名 出席者 67名
 欠席者 15名 ご来客 2名
 ご来賓 0名 ゲスト 0名
 計 69名
 前々回(10月1日・木曜日)
 出席率 100%



✳️ 親睦活動委員会 柴田委員長

♪夜間例会並びに会員懇親会のご案内♪

会員相互の親睦をより一層深めるため、下記例会を夜間例会に変更いたしました。万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますよう宜しくお願いいたします。

日時 2015年11月12日(木) 18:00~
 場所 ANAクラウンプラザホテル広島3F
 会費 3,000円

✳️ 地域・環境委員会 井下委員長

①当クラブ初の地区補助金活用プロジェクト

電動車いす寄贈の報告

10月7日(木)、当クラブの会員と鈴峯IACの生

徒さん3名で、広島市西部こども療育センター「なぎさ園」を訪問し、電動車いす贈呈式に参加しました。

贈呈式には、園職員を含む広島市より25名、園児71名、保護者50名ほか、総勢約150名を超える多くの方が参加され盛大に行なわれました。

昨年からの地区補助金活用プロジェクトに取り組みました鮫島さん、前橋さん、松岡さん、関係者の皆さんありがとうございました。



②「佐伯区スポーツセンター敷地内への樽鉢寄贈」ご案内

昨年度に引き続き、佐伯区まちづくり百人委員会花部会の「花いっぱいのもちづくり活動」に賛同し、佐伯区スポーツセンターの敷地内に来館者をもてなすための樽鉢プランター10鉢を寄贈することとなりました。

多数のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

日時 2015年11月12日(木)
 場所 佐伯区スポーツセンター
 時間 9:50 集合
 (スポーツセンター玄関前集合)
 10:00 セレモニー開会
 感謝状受領
 植栽作業
 11:00 閉会

✳️ 会報雑誌・広報委員会 岡野委員

ロータリーの友誌紹介

●同好会報告

☞紫友会 鈴木世話人

紫友会10月例会は、10月10日土曜日に東広島市高屋町にあります賀茂カントリークラブで晴天の中行なわれました。

優勝は2連覇となりました柴田さん、アウト

43 イン41 トータル84 ハンディキャップ
16.20 ネット67.80で、2位との差を4.5ポ
イントもはなしてのぶっちぎりの優勝でした。

ちなみに柴田選手のいままでの最高スコアは
89で、今回84ということで大きく自己ベスト
更新となり、上田さんの背中が見えたと言って、
今日も松永カントリーに行っていらっしゃるよ
うです。

準優勝はシニア優勝とのダブル受賞となりま
したのは、アウト48 イン45 グロス93で福
田さん。3位には私、鈴木がアウト41 イン45
グロス86ですべりこみました。

ブービー賞は村上さん、ベスグロは上田さん
アウト40 イン42 トータル82、シニア優勝
は福田さんでした。

今回は、広島西南ロータリクラブ・広島廿日市
ロータリークラブ、合同でのコンペとなります。

11月14日第2土曜日、芸南カントリーでの
開催となります。ふるってのご参加、お待ちし
ております。

◆紫輪会 松田世話人

去る10月1日に紫輪会の本年度第1回例会が
行われ、「わかつつもりのその言葉 -ロー
タリー用語の真意-」というテーマで、松田が
話をさせて頂きました。話をしたのは松田です
が、原稿は、諏訪(浩)さんの監修をうけて作成
されたものですので、読み応えがありますし、
勉強になります。当日の原稿を当クラブのHP
に掲載していますので、紫輪会のメンバーで当
日欠席された方や、紫輪会以外の方でも上記の
テーマに興味を持た方は、ぜひご一読ください。

● 会員記念日

祝 連続出席100% (6名)

大本君 (23年)	教蓮君 (21年)
森信君 (21年)	木村君 (16年)
土井君 (16年)	新原君 (14年)

🎁 ご結婚記念日おめでとうございます。 (16名)

柴田君	垂井君	新本君	刀禰君
森信君	木本君	豊岡君	篁君
山下君	松岡(幹)君	教蓮君	
荒谷君	梶君	金本君	浜井君
田中君			

● スマイルボックス SAA 大植委員長

😊 鮫島君 (自主申告・ダブル)

① 日本料理 雲海にて「ほろよい海鮮鍋プラン」
11月20日までの平日限定プランです。お一人
様6,000円 (税金・サービス料込)。内容は、2
時間の飲み放題付でお料理は突出し、前菜、お
刺身盛り合わせ、海鮮鍋、雑炊または稲庭うどん、
水菓子でお得な TWO plus ONE (ツープ
ラスワン) も適用です。

3名様毎にお一人様無料、故に3名、6名、9名、
12名様のご利用だと33%OFFのお一人様4,000
円 (税金・サービス料込) でご利用いただけます。

② 11月9日(月)pm7:00より、3階オーキッドに
て「秋の味覚と田崎真也セレクトワインのマリ
アージュ」を開催いたします。お一人様25,000
円 (税金・サービス料込)。

現代の名工である総料理長澤村収二がお届け
する極上の料理と世界的に有名なソムリエ 田
崎真也氏がそれぞれの料理に合わせてセレクト
したワインを存分にお楽しみいただけます。

お申込みは宴会予約係 (082) 241-9127ま
でお問い合わせください。

😊 梶本君 (自主申告)

10月12日(月)に、広島ゴルフ倶楽部鈴が峰コ
ースで秋季会員懇親競技が104名で行われ、運
良く優勝することができました。ギックリ腰も
だいぶ良くなり、これから精進して紫友会でも
優勝できるよう頑張ります。なお、同組で回ら
れた松岡幹太郎さん、田中健志さん、香川基吉
さんに感謝いたします。

同伴競技者3名の方もご出宝よろしくお願
いいたします。

😊 原君、鈴木君 (自主申告)

9月22日に開催された、広島カントリー倶楽
部八木松コースでのダブルスコンペにて、2人
でペアを組み、幸運にも優勝をいたしました。

😊 宍戸君、木村君、新本君

9月13日広島ゴルフ倶楽部鈴が峰コースの月
例にて、Aクラス優勝の(37、39、76) ^{アウト} ^{イン} ^{グロス} 宍戸
君。Bクラス優勝の木村君、2位の新本君、ご
出宝ください。

😊 紫友会10月10日例会報告

優勝	柴田君	ダブル
準優勝	福田君	
3位	鈴木君	
BB賞	村上君	

ベスグロ賞 上田君

シニア優勝 福田君

ご出宝お願いします。

😊 加藤君

10月4日の広島経済レポートによりますと、御菓子処高木は、秋限定の「栗もなか」を発売されたそうです。これは、カットした栗と国産栗をペースト状にしたものを加え、より一層栗の風味を増した餡を香ばしいもなか種で包み、甘さを抑えた上品な味を楽しめるといものなのだそうです。また、同社はさらに栗をあらかね餅で包んだ「渋皮栗大福」を9月28日から10月末にかけて販売されるそうです。

御菓子処高木の益々の発展を祈念しております。

● すまんボックス

😊 香川(基)君

私、紫友会世話人代表の香川は、10月10日の例会日において、事前に購入していました景品を当日持参するのを忘れ、例会後のミーティングにおいて多大のご迷惑をおかけしました。

謹んでお詫び申し上げますとともに、すまんボックスへ出宝致します。

■ 新会員卓話



野嶋 説夫 君

今回、新会員卓話として、自己の職業をテーマとすることで、私の勤務する住友生命保険相互会社について皆さまに、会社の歴史、目指している先等、いくつかの点をお話しさせていただきます。

弊社の前身となります、小さな規模ながら経営内容が極めて優秀なため業界のダイヤモンドと呼ばれた、日之出生命保険株式会社が1907年(明治40年)5月に設立されました。当時の住友合資会社が、日之出生命保険株式会社の経営を引き継ぎ、1926年(大正15年)5月に住友生命保険株式会社に社名変更し、戦後の1947年(昭和22年)8月 国民生命保険相互会社として新たにスタートし、1952年(昭和27年)6月 現在の社名となる住友生命保険相互会社に社名変更しています。以上の変遷を経て、今年5月で創業108周年を迎えました。広島総支社も、今年で105周年を迎えました。

弊社は、生命保険販売会社ですが、単に、生命保険を販売することだけを目指しているわけではありません。生命保険の加入を検討する過程で、ご家族の将来の夢をより明確にしていくお手伝いが、できればと考えています。そして、その未来をより確かなものにするために生命保険による備えをご提案しております。

日々唱和している内容は、お客さまの人生を守ること、私たちの仕事の原点は、そこにあります。安心は、もっともっと前進できる。何よりもお客さまの未来を強くしたい。これが住友生命の想いです。

お客さまの「未来を強くする」ために、私たちは4つの「先進の価値」を実現していきます。

①いつもいつまでも続く、先進のコンサルティングとサービスを提供していきます。

②強く生きるための先進的な商品を提供します。

③一歩先行く感動品質のお客さま対応を目指します。

④健康な人生・豊かで明るいシニアライフを応援する、進化するサポートプログラムを提供します。

弊社も、一企業として社会に果たすべき責任を大切に考えています。本業である保険事業の品質を高め、「豊かで明るい長寿社会の実現」に貢献することを目指しています。

社会的責任を果たすべく、CSR活動の一環として取り組んでいる主な社会貢献活動について紹介します。大きく分けて、子育て支援、地球環境、震災復興、財団の分野で活動しています。

子育て支援としては、こども絵画コンクールがあります。こどもたちの心豊かな成長を願って、昭和52年にスタートしました。平成12年度からは、優秀作品をフランス国立ルーブル美術館に展示しています。画用紙、応募作品一点毎に、日本ユニセフ協会に寄付しています。

絵画コンクールにご応募いただくことで、こどもたちが、社会貢献できるようになっています。平成27年度39回目の実施となります。累計の応募総数は、1058万点となります。広島総支社は、今年も8月29日(土)に福屋百貨店さまの駅前店で展示させていただきました。

未来を強くする子育てプロジェクトがあります。子育て支援活動や女性研究者に対する表彰事業、NPOとの連携による子育て環境の整備、育児をテーマにした講演会等の開催など、さまざまな活動を通して、すこやかな子育てと夢のある未来づ



例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 金本 善行
幹 事 梶本 政明

広島西RC **検索** 
事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp
作 成・会報雑誌・広報委員会